予算要求中央決起大会

日　時　11月24日(水)
時　間　8時30分
集合場所　東久留米駅上りホーム

けんせつ 清瀬久留米

発　行　所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751 FAX 042-473-8753
http://www.tokyodoken.info/
発行者　鈴木勝雄
編集者　角　毅征

支部目標達成！
今までになく苦しい拡大を乗り越え

拡大推進委員会にて、達成に向け意思統一!!

2ヶ月にわたる「秋の拡大月間」の取り組み、大変お疲れさまでした。日々の努力により、清瀬久留米支部5%目標の94名を達成しました。成果は左図のとおりです。

この月間は、建設不況がさらに広がり建設従事者が仕事量・経済的に追い詰められ、組合拡大対象者の顔が見えない中での取り組みに加え、就業実態調査の取り組みとも重なり、スタートダッシュとなる事業所分会対策が十分に行えない中での取り組みとなりました。

9月には、タマゴデーと分会中間決起バーベキューを行い、6分会から成果が上がり青空分会が節目標50%を達成しました。特徴は、若い層の組合員のつながりでの成果です。分会役員レベルでの対象者が出にくくなっている中、30代40代の若い組合員を中心に何度も訪問する中で、対象者が生まれ拡大に結び付いています。また、訪問行動強化のため提案した「しあわせの対象者カード」作戦では、三葉分会が70枚を超えるカード記入に取り組み、独自の日曜行動で1日57件の訪問行動を行うなど、対象者確保に向けた取り組みを展開しました。

10月後半戦は、残り6割近い目標に取り組むという厳しい1ヶ月になりました。その中で、タマゴデーを2回に増やし訪問行動の強化を図る中、若い組合員中心の訪問を行っていた青空分会が10月半ばで分会目標を達成し、支部全体を勇気づけました。月間最終盤には、24日の日曜行動で日曜検診・一人親方労災加入の取り組みと合わせて訴え、2分会が達成。最後の拡大行動3日間で6分会が達成しました。また、松竹・滝山・直属分会が超過達成をやりきり、支部目標達成に大きく貢献しました。

苦しい中でも、「目標は必ず達成するもの」という意気込みで、支部・分会が一体となって取り組み目標を達成した月間となりました。この月間の教訓と経験を活かし、組合員実増につながる楽しい拡大を目指して行きましょう。

書記局　山内高広

目標と成果表

分会	5%目標	成果	青年部	シニア	主婦の会
元塩	7	7	2	1	2
松竹	4	5	2	1	2
清里	8	8	0	1	3
滝山	9	11	1	1	3
三葉	13	13	3	2	3
北浅	8	2	1	2	2
南町	3	3	0	1	1
青空	6	6	1	1	3
事業所	20	20	0	0	2
直属	16	19	0	0	0
合計	94	94	10	10	21

厚生文化からのお知らせ

組織拡大月間お疲れ様でした。自動車見積もり・火災共済の推進月間はまだまだ11月もつづいてます。

現在、共済推進目標を達成している分会は青空分会のみです。

まだ目標を達成していない分会は最後まであきらめず目標を達成しましょう。

どけん共済の魅力を仲間に広く伝えていきましょう。

新加入者との交流深めた!!
ありがとう・おめでとうの会
青空分会

10月30日、拡大月間も無事に終了し、新加入の仲間や共済加入者を交え、「ありがとう・おめでとうの会」を行いました。分会役員・主婦の会の送迎のおかげで、雨の振る中新加入者を含む43名もの仲間が集まりました。

あり・おめ会では、10月に分会旅行でいった益子焼きの絵付け体験の品の贈呈や、新加入者への分会役員の自己紹介をするなど内容は盛りだくさんでした。

分会旅行の話題を盛り込んだことで、新加入者の方々にも分会に入ることの楽しさを伝えられたと思います。

全建総連建設住宅企業交渉決起集会

10月21日・22日で行われた全建総連建設住宅企業交渉決起集会は、両日で10 26人うち東京土建324人（支部から5人）の参加のもと、関東地方協議会会議長である鈴木氏の挨拶で始まりました。

また、全建総連本部の古市書記長が、秋田にて行われた大会成功の感謝を述べ、建設業を取り巻く情勢の訴えを行いました。

その後、PAL会長の現場からの報告として、「アスベストのある現場と知っておきながら会社からの説明もなく作業をさせられ、抗議を行ったところ、会社もその事実を知らなかった」として会社からの謝罪を勝ち取った事や「夜間作業が多く一日1万6千で週5日間しか働けないのでとても食べていけない」という現場の厳しい現実の声が報告されました。

21日、大豊建設本社へ35名（支部から5名参加）にて企業交渉を行いました。

企業交渉では、日建連が提言している「年収600万円」を含めた建設技能者の人材確保や若年層の育成に向けた取り組みにたいして企業がどのように参画するか、「有料技能者制度」などの具体化を追求しました。

標準賃金の実現と1日2000円以上の賃金引上げ、労災制度や不払い問題への対応、建退共加入促進と証紙の貼り付けシステムの改善など、現場環境の適正化を重点に交渉を行いました。22日には、ダイダン㈱会社との交渉を行いました。支部から5人の仲間が参加しました。

二日間に渡る企業交渉の中で企業の返答として、「不払いの件では、早急に本社に連絡していただければ対処のしようがある」「建退共の証紙貼り付けシステムは事前に設定すれば現場での対応も可能にできる」といった前向きな意見を聞くことが出来ました。

建設現場の環境悪化が続く中、これから多くの場面でPALの戦いが求められる。

清里分会　鈴木勝雄

東久留米市から表彰!!

10月1日（金）東久留米市立生涯学習センターにて、平成22年度東久留米市表彰式典が開かれました。

様々な分野から表彰者が上げられ表彰される中、東京土建清瀬東久留米支部からの推薦で、滝山分会の新出政治さんが、産業・技能功労者の部にて表彰されました。

産業・技能功労賞受賞おめでとうございました。

きよせ平和と健康まつり

秋晴れに恵まれた10月3日（日）。平和と健康まつりが清瀬神山公園で開催されました。清瀬地区労の呼びかけで、東京土建を含むたくさんの市民団体が参加しました。

今年で5回目を迎えました。来場者数は昨年を上回り、2、850人程の参加があったと報告されました。

元塩分会、清里分会の模擬店、松竹分会の子供木工教室等大盛況でした。

他団体の焼き鳥や焼きそばなどの飲食コーナーも大盛況で、販売終了時間を待たずに完売の店もありました。又、署名コーナーでは核廃絶を求める署名や、医療介護改善を求める署名にも高い関心が集まっていました。

主婦の会のフラダンスは、今年は他団体に譲る結果になりましたが、東京土建はミニ上棟式で大勢の観客の関心を集めました。

わかば会の踊りや、沖縄の踊りにも観客の大きな声援がありました。

無事まつりを終えることが出来、その後の清里分会の反省会では、微力ながら次回も協力すること、又、大勢の参加要請をすることの確約をしました。

清里分会　古名孝二

就業実態申告書提出についてのお知らせ

7月より皆様にお願いしております、就業実態調査において、支部への電話相談が相次いでおります。

電話だけでの相談では困難な状態ですので、個別の相談を行っております。

まだ未提出の方は早急に支部へ提出してください。

また記入の仕方や添付書類がわからないなど、お困りの方はお早めに支部へ電話にてご予約の上お越し下さい。

当日の持ち物は・就業実態申告書・印鑑・必要添付書類（わからない場合は相談会後日）を持参してください

※お越しになる前に事前に支部にてご予約をしてください

支部連絡先：TEL 042―473―8751

青空分会 拡大決起バス旅行

青空分会は10月3日に拡大決起を兼ねて、栃木県益子町方面へ体験旅行をしました。

車窓から見える色づいた稲穂や田畑の作物の実りに、自然の恵みは有難いものだと感じました。

旅行のメインは益子焼の絵付けです。各々がマグカップや湯のみ、皿などに文字や絵柄を描くのですが、中には「拡大目標達成」と書く人もいました。

昼食後はりんご狩りと佐野ラーメンの工場に寄り、車中はビンゴゲームやカラオケで盛り上がり、全員の想いが拡大達成に向けて1つにまとまった楽しい行事となりました。

青空分会　笹下美津

街の住宅相談所 清瀬市民まつり

朝8時に午前の部の担当者が現地に集合して10時の開始に向けて準備を行いました。

10時に祭りがスタート、土建のブースでは住宅相談を主に行い、住宅センターのビラや風船、ティッシュなどの配布も行いました。

住宅相談では火災報知器の単価や、取り付ける場合の担当者はという質問や、窓の結露が出て困っている、原因はなんだろうという相談を受け、相談に対応しながら東京土建清瀬久留米支部を宣伝しました。

風船を作り配布する人や、東京土建の魅力を宣伝する人にわかれ、休憩をする暇もないくらい大盛況でした。

また伊藤丈弘書記は、二重サッシなど住宅エコポイントについてカタログを見せながら説明を行い、土建の宣伝を行いました。

今回、土建に割り当てられた場所が駅に近かったこともあり、去年よりも人通りが多く、参加された仲間はほとんど立ちっぱなしという状態で疲れましたが、大きな達成感もあり、充実したイベントとなりました。

清里分会　鈴木勝雄

第27回 仲間の作品コンクール

応募要綱

○文芸…一人一部門(短歌、俳句、川柳)5首あるいは5句まで。

○写真…六ツ切り・一人一部門3点まで（必ず六つ切りで応募してください。）デジタルカメラも可

応募部門…組合活動、スナップ、風景、家族

応募資格●組合員および家族

※支部へご応募ください

第2回囲碁大会

と　き●2011年2月13日（日）午前9時開会

ところ●けんせつプラザ東京

参加費●一人2,000円

審　判★淡路修三九段、巻幡多栄子三段

第32回将棋大会

と　き●2011年1月23日（日）午前9時開会

ところ●けんせつプラザ東京

参加費●一人2,000円

審　判★島朗九段・斎田晴子女流四段

※詳細はチラシを参考にして下さい。

主催　東京土建一般労働組合厚生文化部

思い出

急がばまわれ

日にちは何時だったか忘れてしまった。

私は仕事のために赤羽で降りた。川口市に近い荒川へりにいくためだ。赤羽駅で下車して線路沿いに環八の一つ手前、赤羽よりの踏切だった。

此処の踏切は埼京線、京浜東北線に東北線と宇都宮線とが併進する長さ40ｍの踏切だ。

この時はまだ高架になっておらず、開かずの踏切だった。

私は遮断機を押上げて踏切を通るつもりだった。

電車は見えていた。この辺の電車は大体時速百キロから百二十キロ位で走行するようだった。

線路がたくさんあるので、どの線を通るのか分からない。私の後に一人の男性が自転車を押しながら、私の真似をして踏切に入ってきた。

電車が接近している中、私は無事に通過した。しかし、私の後ろから来た男性は自転車を持ったまま、線路で立ち往生していた。死相が出ていた。

私は遮断機を押上げ、その男性に「危ないぞ、早く出ろ」と言って踏切の外に出した。そのあと電車が通り過ぎた。

今はこの踏切は高架になっている。

時々仕事で通る時、あの頃の事を思い出す。

松竹分会　後藤孝